

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	みらいキッズ			
○保護者評価実施期間	令和8年1月5日		～	令和8年1月23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	10
○従業員評価実施期間	令和8年1月26日		～	令和8年2月3日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月10日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<p>適切な支援の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ご家族の意向をじっくり聴き、こどもたちの発達や課題に応じた支援の計画が作られていること。また、ケア記録などの資料を参考にしながら、計画の適切な見直しが行われている。 支援の計画に基づき、ひとりひとりに丁寧な支援を行っていること。また、職員間で支援の方針を共有し、チームで支援を行っていること。特に活動作りは、支援目標に応じた活動計画が立てられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所独自のアセスメントシートを利用し、支援に必要な情報について、ご家族から漏れなく聴き取りができるよう工夫している。 毎日の様子をライン等でお伝えし、日々の情報共有を行っている。 計画に基づいた活動作りをするためのツールがあり、職員全員が参画して支援について検討する時間（打ち合わせ、振り返り）を毎日設けている。 毎日の記録の付け方を標準化し、成長や課題が見えやすい工夫を行っている。また、ケア記録を見返す機会を作り、モニタリングや支援計画の修正等に反映している。 	<ul style="list-style-type: none"> ご家族の意向を丁寧に聴くことを継続するとともに、利用児本人の意向や希望を把握する機会を作っていきたいと考えている。
2	<p>環境、体制整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業所内外が整理整頓されていること。流れ表や名前カード、学習ツールなど、こどもたちの様子に合わせて構造化された環境整備が行われている。 こどもたちが過ごしやすい、やるべきことに向き合いやすい環境作りを行っていること。 	<ul style="list-style-type: none"> 発達の段階や文字の読み書きの段階に応じた伝え方を工夫し、こどもたちが、自分で見て、理解して行動できる環境を作っている。 支援に関する道具について、置く場所、置き方、見やすさ、分かりやすさなど、ひとつひとつに工夫を施している。 	
3	<p>業務改善、非常時の対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員間で業務について考える機会が作られていること。職員が真剣に話し合いに参加していること。 研修が定期的に行われていること。そして、内容が工夫され、学びの機会となっていること。 各マニュアルが事業所の実態に応じて作成され、職員やご家族へ周知されていること。 定期的な訓練が行われ、その都度、対応や内容について見直しが図られていること。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員会議や個別面談を定期的（月1回）に開催し、話された内容が業務改善につながっている。 年間計画を立てて、計画的な研修を行っている。形だけの研修にならないように、内容についても、事業所の実態にあったものにするなど、工夫を行っている。 訓練後に振り返りを行い、改善点などを話し合うことができています。また、話し合った内容が次の訓練に生かされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 火災避難訓練、地震避難訓練などを行っているが、引き渡し訓練は実施したことがないため、ご家族の協力を得ながら、今後検討していきたい。
4	<p>保護者への説明等について</p> <ul style="list-style-type: none"> 支援の計画について面談で丁寧に説明を行っていること。ご家族と、課題や目標、進捗状況について共有することができている。 ご家族やきょうだい参加できる活動が行われていること。きょうだい参加することで、地域交流にもつながっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎日の活動について、様子だけでなく、支援の「ねらい」や支援方法についてお伝えすることで、進捗状況についても共有するよう努めている。 活動の様子や支援の具体的なツールなどについて毎月の通信やHPを通して積極的に発信している。 	<ul style="list-style-type: none"> 近隣にお住まいの方と良好な交流を持つことができている。地域向けの活動は行えていないため、行事の開催や地域向けの施設開放日などを検討していきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<p>関係機関や保護者との連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童発達支援センターとの連携を図れていないこと。そのため、自立支援協議会への参加に至っていないこと。 児童クラブや地域のこどもたちとの交流の機会を作れていないこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所として積極的な連携の動きが取れていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の児童発達支援センターに声をかけ、相談しやすい関係作りを行っている。 きょうだい児が参加できる行事を積極的に企画していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	みらいキッズ					公表日	令和8年2月17日
		利用児童数			10名	回収数 10	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動スペースが十分に確保されていると思いますか。	10				・とても広々として活動しやすいと思います。	
	2 職員の人数や支援の体制は適切であると思いますか。	10					
	3 活動空間は、整理整頓され、やるべきことが分かりやすく示され、子どもたちが自主的に取り組みやすい環境になっていると思いますか。また、特性に応じて、バリアフリー化や分かりやすい工夫などの配慮が適切になされていると思いますか。	9			1		・療育見学や面談、毎月の通信等を通じて、事業所の工夫や取り組みについて発信しながら、ご家族のご要望等についても検討していきたい。
	4 活動空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子どもたちの活動に合わせた環境作りができていると思いますか。	10					
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10					
	6 支援プログラム（別紙）は、事業所の実施する支援と合っていると思いますか。	10					
	7 子どものことをよく理解し、子どもやご家族のニーズや課題を把握した上で個別支援計画が作成されていると思いますか。	10					
	8 個別支援計画には、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」の項目に応じて、課題に応じた目標が設定され、目標達成のための具体的な支援の内容が記載されていると思いますか。	10					
	9 個別支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10					
	10 活動内容が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10					
	11 他の小学校や特別支援学校、放課後児童クラブに通う子どもとの交流や、地域行事への参加、地域の公共施設の利用などの活動が実施されていると思いますか。	8				2	・地域の図書館や公民館などの公共施設を活用した活動作りを行っている。地域行事への参加はできていないため、今後検討していきたい。
保護	12 事業所を利用するにあたり、重要事項説明書、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10					
	13 個別支援計画の交付について、計画書の内容について、確認をしながら説明がなされましたか。	10					
	14 ご家族に対して、子どもへのかかわり方や接し方について、情報提供や相談への対応が行われていますか。	10					
	15 日頃から子どもの状況についてご家族と情報交換し、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	10					・すぐく気にかけていただきありがたいです。
	16 子育てや教育に関する相談がしやすい環境にあると思いますか。	10					

者 へ の 説 明 等	17	事業所の職員は、ご家族の思いに共感し、丁寧な支援が行えていると思いますか。	10				
	18	親子活動や保護者会の開催などにより、保護者同士の交流の機会が設けられていますか。 また、きょうだい向けのイベントの開催など、家族全体への支援がされていますか。	7		3	・療育見学会などありましたが、参加できていなくて、また参加したいです。	・今年の1月から、ご家族向け、きょうだい児向けの活動を開催。今後も参加しやすい取り組みを積極的に行っていきたい。
	19	子どもや家族からの相談について、すぐに対応できる体制があることを知っていますか。 また、何か相談した際はすぐに対応してもらえていますか。	10				
	20	子どもやご家族との意思の疎通や情報共有のための工夫がなされていると思いますか。	10				
	21	活動内容や行事予定、自己評価の結果などについて、お便りやホームページなどで定期的に発信されていますか。	10				
	22	個人情報の取り扱いについて、文書で説明を受け、十分に配慮がなされていると思いますか。	10				
非 常 時 等 の 対 応	23	事故防止、緊急時対応、防犯、感染症対応等のマニュアルが作られ、ご家族へ配布、説明がされていますか。 また、緊急時を想定した訓練が実施されていますか。	9		1		
	24	非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練等が行われていますか。	9		1		
	25	子どもの安全を確保するための計画が作成され、周知されるなど、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10				
	26	事故や怪我、発熱や普段と違う様子があった場合に、職員から速やかに連絡があり、状況について正確に説明がされていますか。	10				
満 足 度	27	子どもは安心して通所していますか。	8	2		・とても先生方を信頼していて楽しみに登所しています。 ・今は行けておらず、また通所できればと思っています。	
	28	支援を受ける中で、子どもの成長を実感できることがありますか。	8	2		・学校でできないことなど、ここで支援を受けて、できることが増えてきています。	・個々の状態に応じた支援の在り方をご家族と相談し、前向きに通所できる方法を一緒に考えていきたい。
	29	事業所の支援が、子育ての助けや安心材料になっていると感じますか。	10			・支援ももちろんですが、先生方に何でも相談できることが親子で安心しています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
みらいキッズ		令和8年2月17日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		・こどもたちが過ごしやすい環境（刺激が少なく、やるべきことが分かりやすい）が整っている。伝え方の工夫が見られる。 ・部屋を分けたり、パーテーションで仕切ったりして、目的に合わせた空間づくりができるように工夫している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		・整理整頓され、必要なものだけが置かれている。こどもたちも整理整頓がよくできている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・ミーティングや個別面談を定期的を実施し、業務改善につながっている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		・職場内研修が積極的に行われている。外部研修にも今後参加していきたい。 ・年間計画を立てて計画的に研修を行っている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		・ホームページに掲載されている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		・ご家族への聞き取りが丁寧に行われ、個別支援計画に生かされている。 ・アセスメントシートや面談での聞き取りを通して、保護者のニーズを把握し、ケース記録などの資料を参考にしながら作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		・職員が全員参画し、こどもたちの状況を把握したうえで個別支援計画が作成されている。 ・全職員で会議を行い、目標や支援内容の検討を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		・個別支援計画の目標に基づいた活動作りが行われている。 ・計画に沿って活動を設定し、支援について全職員で確認する時間をつくっている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		・毎日のケア記録が支援計画作りに生かされている。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			・全ての活動が職員全員で協議、立案されている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			・支援目標と進捗状況に応じた活動の設定が行われている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			・目標に応じて、活動外の時間を活用した支援が行われている。 ・必要に応じて個別で過ごす時間をつくりながら集団につなげていけるように工夫している。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			・毎日の活動について事前に職員間で打ち合わせが行われている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			・毎日の活動について終了後に職員間で振り返りが行われている。 ・打ち合わせや振り返りを通して、こどもの様子に関する情報共有をしたり、支援の改善を図ったりすることができている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			・ケア記録の取り方が工夫され、支援に生かしやすい記録になっている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			・定期的なモニタリングの他、必要に応じて臨時的なモニタリングが行われている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○			・基本活動を組み合わせつつ、その中でも自立支援に係る活動、こども主体の活動が丁寧にされている。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			・こどもたちの自主的な参加が促されるような活動作りがなされている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			・地域の小学校等との連携は図られている。 保健、医療との連携は多くない。 ・療育見学の呼びかけや、行事や県民週間での学校訪問などを行っている。今後の取り組みとして、毎月の通信の配布などを検討し、連携を深めていきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			・現在は対象となる児童はいない。対象となるこどもがいるときには行っていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			・現在は対象となる児童はいない。対象となるこどもがいるときには行っていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			・きょうだい児も参加できる活動を積極的に企画していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・毎日のこどもたちの様子をご家族へお伝えされている。 ・毎回の活動の様子についてはLINEを通して保護者に知ってもらうことができている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		・研修や支援プログラムのニーズについて、面談等を通じてご家族の意向を確認し、必要に応じて検討していきたい。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・事前の面談で丁寧に聴き取りがなされ、作成後も説明のための面談が行われている。	・こどもの意向を確認する機会は設けていない。方法を検討したい。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・面談以外でもご家族への相談対応がなされている。	
	40	文書の云々の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・ご家族やきょうだいに参加できる活動の企画が行われている。	・保護者会はニーズがあるか確認してみたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・毎月の通信を配布している他、HPにも活動の様子などが掲載されている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・近隣にお住いの方と良好な交流を持つことができている。行事の開催や地域向けの施設開放日などを設け、さらに地域に開かれた事業所にしていきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・契約時や面談等を通じて、丁寧に説明がなされている。	・各指針やマニュアルの見直し研修を行ったタイミングで、ご家族へ最新版のマニュアルを配布し、周知を図ってきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・アセスメント時にアレルギー等について丁寧に確認が行われている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・契約時は説明してるが、また毎年年度初めに配布するようにしたい。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・毎月の委員会で虐待防止のための協議ができています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・身体拘束をしなくてすむような対応などについて必要に応じて検討できている。		